

船舶事故調査報告書

平成22年8月26日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 山本 哲也

委員 根本 美奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成22年4月27日 06時ごろ～08時40分ごろの間）
発生場所	不明（北海道森町沼尻漁港北西方沖）
事故調査の経過	<p>平成22年4月28日、本事故の調査を担当する主管調査官（函館事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。</p> <p>原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。</p>
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	<p>漁船 第八^{かいよう}海洋丸、1.8トン</p> <p>HK3-116849（漁船登録番号）、個人所有</p> <p>9.45m（Lr）×2.08m×0.61m、FRP</p> <p>ディーゼル機関、漁船法馬力数40、平成3年1月</p>
乗組員等に関する情報	<p>船長 男性 52歳</p> <p>一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定</p> <p>免許登録日 昭和61年12月5日</p> <p>免許証交付日 平成18年9月6日</p> <p style="text-align: center;">（平成23年12月4日まで有効）</p>
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、僚船約50隻とともに、北海道森町砂原漁港を出航し、平成22年4月27日06時ごろ、沼尻漁港北西方沖で、なまこけた網漁の操業を開始した。</p> <p>僚船A及び僚船Bは、08時40分ごろ、沼尻漁港北西方沖（砂埼灯台から124°（真方位、以下同じ。）2,200m付近）において、無人で漂流している本船を発見し、携帯電話で漁業協同組合に連絡するとともに、他の僚船に呼び掛けて捜索を開始した。</p> <p>捜索に加わった僚船Cは、08時50分ごろ、沼尻漁港北西方沖（砂埼灯台から125° 2,500m付近）で、救命胴衣を着用せず、うつ伏せ状態で浮いている船長を発見し、収容して沼尻漁港に向かった。</p> <p>船長は、救急車で搬送された病院で死亡が確認され、死因は溺死と検案された。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 東、風力 4、視界 良好</p> <p>海象：波高 約1.5m、水温 約3～5℃</p> <p>特記事項：前日より渡島全域に霜注意報が発表され、06時31分に強風及び波浪注意報が発表されていた。</p>
その他の事項	本船が発見されたとき、けた網は船体に吊り上げられた状態であった。

	船長の額に、何かに接触したような痕跡があった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 船長の死因は溺死であった。 本船は、船長が1人で乗船し、沼尻漁港北西方沖において、06時ごろ操業を開始したのち、08時40分ごろ無人で漂流しているところを発見されたことから、この間において、船長が落水したものと考えられるが、その状況を明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、本船が沼尻漁港北西方沖において操業中、船長が落水したことにより発生したものと考えられるが、落水した原因を明らかにすることはできなかった。	